

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	07	01	03	174360	観光ルート整備事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	3	移動しやすい観光地			
目的	観光客の利便性向上のため、二次交通の充実と市内回遊性を高める事業に対し支援を行う。					
対象	観光客					
意図	温泉地や観光地へ向かう観光客の交通手段を確保し、利便性の向上を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 9,300千円 花巻温泉郷が共同運行する、JR新花巻駅～各温泉施設の無料送迎バスの運行支援 ○どんぐり号、やまねこ号運行支援 5,000千円 花巻市内の主な観光施設を巡るツアーの運行支援 ○団体旅行貸切バスツアーの運行支援 11,460千円 国内外からの団体旅行貸切バスツアー運行支援						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	どんぐり号、やまねこ号運行日数	日	計画	300	300	
			実績	237	296	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	どんぐり号、やまねこ号利用者数	人	目標	3,000	2,000	
			実績	1,464	2,193	
②	花巻温泉郷送迎バス利用者数	人	目標		56,400	
			実績	52,576	52,650	
③	団体旅行貸切バスツアー運行支援を受ける貸切バス台数	台	目標	200	200	
			実績	127	382	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
主要観光施設を巡る「どんぐり号・やまねこ号」は、両コースに「宮沢賢治記念館」を入れたところ、利用者が増加。駅と宿泊施設を結ぶ無料送迎バスは前年度並みの利用者で、概ね目標値どおりだった。 団体旅行貸切バスツアー運行支援については、4月に要綱改正を行い、国内発着ツアーについては閑散期指定を行ったが、新たに通年で海外発着ツアーを対象としたことから、目標値を大きく上回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	バス路線等が充実していない現状においては、観光客に過度な負担を強いることが無いよう行政の支援を行う必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	ツアーのコース設定の見直しにより集客を高めることができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	利用者負担額の見直し余地がある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	利用者負担額、利用機会は観光客、市民とも平等である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
二次交通の充実と市内回遊性を高めることにより、温泉地や観光地へ向かう観光客の利便性が確保され、イメージアップとリピーター確保につながった。 次年度以降もコースの魅力向上と、二次交通の充実を実施していく必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 似内 泉 内線 288

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	174360	観光ルート整備事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		19,130	25,760		6,630
財 源 内 訳	国・県	453			△ 453
	地方債				
	その他		7,545		7,545
	一般財源	18,677	18,215		△ 462

※特定財源の内訳

まちづくり基金（ふるさと納税）	7,545千円
-----------------	---------

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します			
事業開始の背景・経緯			
二次交通の充実を通じ観光客の市内回遊性を高めることにより経済効果を発揮させる。			
事業概要			
○花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 9,300千円 花巻温泉郷が共同運行する、JR新花巻駅～各温泉施設の無料送迎バスの運行支援 ○どんぐり号、やまねこ号運行支援 5,000千円 花巻市内の主な観光施設を巡るツアーの運行支援 ○団体旅行貸切バスツアーの運行支援 11,460千円 国内外からの団体旅行貸切バスツアー運行支援			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

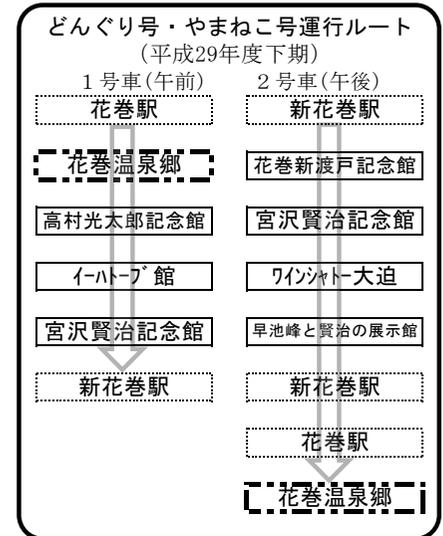
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 花巻温泉郷共同送迎バス運行事業補助金 9,300千円

花巻温泉郷が共同運行する、JR新花巻駅～各温泉施設の無料送迎バスの運行を支援。
 事業費の1/2を補助 花台協議会 3,200千円 花巻南温泉事業組合 6,100千円

2 観光ルート整備事業補助金 5,000千円

- ① 「どんぐり号」「やまねこ号」運行支援
 花巻市内の主な観光施設をレトロジャンボタクシーで巡るツアー
- 期間 4月～3月
 - 料金 2,000円/人
※施設入館料含む
 - 主催・申込 (一社)花巻観光協会
※申し込みは3日前まで



3 団体旅行貸切バスツアー支援事業補助金 11,460千円

貸切バスツアーの誘客を図るため、市内宿泊施設に1泊以上宿泊するツアーに対し、1台あたり30,000円を補助する。
 補助対象は国内発着と海外発着で異なる。

【国内発着ツアー】

- 期間 閑散期対策として、5/15～7/15、9/1～9/30、12/15～3/15
- 補助要件 往復県外発着の貸切バスを利用した団体旅行で、1台20人以上のツアー
- 補助台数 127台

【海外発着ツアー】

- 期間 通年
- 補助要件 海外からの団体旅行で貸切バスを利用したツアー
- 補助台数 255台

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	03	174390	観光案内板整備事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	3	移動しやすい観光地			
目的	観光客が花巻市内をスムーズに移動できるように、案内板を充実させる。					
対象	観光客					
意図	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備する。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○観光案内標識等の整備検討 地図情報ソフトによる標識、案内板等の配置状況や表示内容の現状を把握し、整備箇所の検討をする。 ○観光案内標識等整備 4,968千円 構造上危険なものや、路線の変更、施設の改廃等により整備が必要なものについて、撤去、変更、新設を行う。						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	案内板の撤去、変更、新設	件	計画		6	
			実績		13	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	案内板表示に満足した観光客の割合【観光客アンケート】	%	目標		90.0	
			実績		87.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
満足度アンケートにおける「目的地に行くための道路の案内表示板等の行き先案内はわかりやすかったですか?」の設問に対する「非常にわかりやすい」「分かりやすい」の回答割合であるが、若干目標値より低い割合結果となった。今年度は構造上危険な標識の撤去、更新を中心に整備を進め、観光客が移動しやすい案内表示に努めたが、字の薄れや不正確なもの等表示内容修正の必要なものが多々あることから、それらを優先的に整備し満足度の向上を図っていく。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備することは、観光立市の実現を目指す市の責務である。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	観光客がスムーズに移動できる環境は時間的余裕を創出し、市内の回遊性向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の進捗状況により削減できる可能性がある。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	<input type="radio"/> 適正である	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光客が移動しやすく、市民が案内しやすい環境を整備することは、更なる交流人口の拡大が期待でき市全体に受益を及ぼす。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
観光客が移動しやすい環境づくりはリピーターの増加も期待できることから、全体の把握と随時見直しを行いながら環境整備を続ける必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 島山 英俊 内線 290

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	174390	観光案内板整備事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		8,856	4,968		△ 3,888
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,856	4,968		△ 3,888

※特定財源の内訳

--

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

標識、案内板の不備、表示等に対する指摘と要望

事業概要

○観光案内標識等の整備検討
地図情報ソフトによる標識、案内板等の配置状況や表示内容の現状を把握し、整備箇所の検討をする。

○観光案内標識等整備 4,968千円
構造上危険なものや、路線の変更、施設の改廃等により整備が必要なものについて、撤去、変更、新設を行う。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

道路形状や既存の道路標識等との兼ね合いによる新規設置箇所の確保

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○ 目的

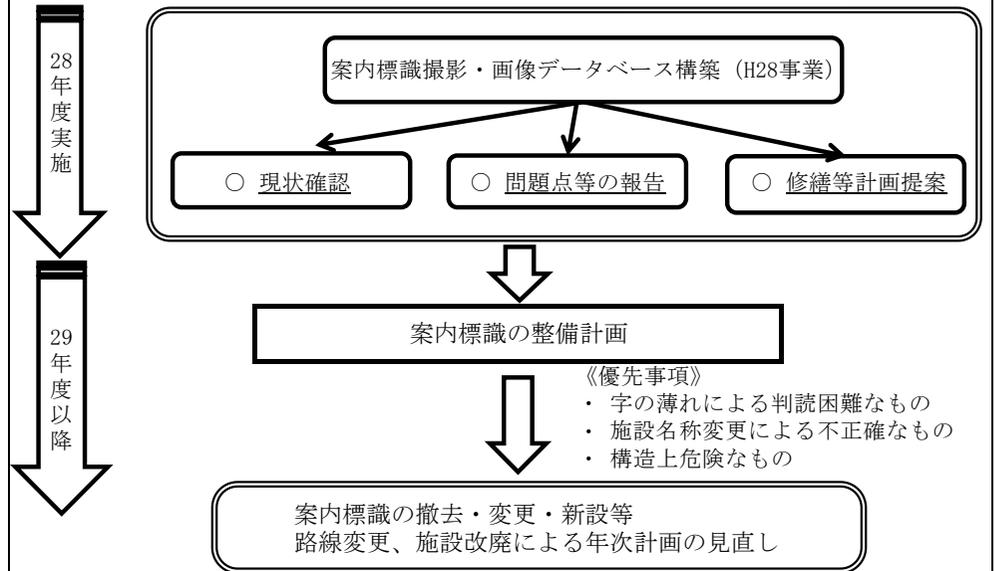
案内標識、案内板の中には、設置から相当年数が経過したものがあるため、構造上危険なものや、路線の変更、施設の改廃等により表示内容の修正が必要なものが相当数発生している。

この状況を改善するため、現在の配置状況、表示内容をすべて把握し、今後の撤去・変更・新設を行うための整備計画により、順次整備を行う。

○ 課題

- ・ 表示内容が不正確
- ・ 連続性の問題
- ・ 文字サイズの不統一
- ・ 案内施設名及び外国語表記の不統一
- ・ 老朽化の問題

○ 事業手法



○ 平成29年度

- ① 既存標識（オーバーハングタイプ等）の撤去 6基
- ② 既存標識（オーバーハングタイプ）撤去後、案内板（単柱式）設置 1基
- ③ 既存標識（オーバーハングタイプ）撤去後、F型標識設置 5基
- ④ 既存標識（F型）の表示内容（国道4号表記）の修正 1基

計 13基